



入学許可を受けるため一人ずつ名前を呼ばれる新入生＝駒ヶ根工業高

上伊那地方にある高校の入学式は5日にピークを迎え、伊那弥生ヶ丘高(伊那市)、高遠高(同)、駒ヶ根工業高(駒ヶ根市)、辰野高(辰野町)で行われた。新入生は高校生活への期待と決意を胸に新たな学びをスタートさせた。

■ 駒ヶ根工業高 ■

駒ヶ根工業高校には119人(男子106、女子13)が入学した。宮澤伸明校長は式辞で「本校は『ものづくりを通じた人づくり』が教育のモットー。高校では自分自身で考える主体性を持ち、今までの指示待ち人間から脱却して積極的な姿勢を見せてほしい」と呼び掛けた。

新入生代表の庄野優人さんは「高校生活では辛いこともあると思うが、自ら選んだ本校で新たな仲間と自分の目標に向かって一歩ずつ進んでいきたい」と宣誓した。1年生は今後、情報技術や電気、機械各科の基礎を学び、2年生から3学科に分かれて授業を受ける。(佐々木孝彦)

で式入学4 期待と決意へ高校生活